

「性感染症発生動向調査活用ガイドラインおよびエイズ・性感染症対策に関する検討会」  
(STI サーベイランス戦略拡大研究班会議兼担当者研修情報交換会) に出席して

平成 26 年 1 月 24 日 (金)  
愛知県衛生研究所 浜武通子

(概要)

1 前半 (公衆衛生情報研究協議会 シンポジウム 3)

性感染症 (STI) の現状と公衆衛生対策について

2 後半 (発生動向調査の解析および情報交換)

- ・アンケート結果では、梅毒のアウトブレイクがあったと回答があったのは 3 自治体のみであった。
- ・梅毒が増加しており、東京と大阪でアウトブレイクが起こっている。
- ・大阪では、MSM が話題の中心であり、梅毒の増加はアウトブレイクとして認知されていない。
- ・梅毒のガイドラインを提案すべきである。  
パートナー健診の拡大をはかってはどうか。(オランダのコンタクトカードを例にして説明あり)
- ・疫学としては、ベースラインがはっきりしていないので、梅毒のアウトブレイクであるかはわからない。
- ・梅毒の口腔感染が問題となっている。口腔ケアを行う医療機関の紹介も有効である。

3 感想

梅毒や淋病等は不妊の原因にもなることから、注意喚起が必要な疾患です。本県においても、今後の梅毒発生状況を注意深く監視し、必要に応じて情報発信していきたいと考えております。

今回の会議で、STI に関する貴重な情報を聞くことができたことは有意義でした。  
ありがとうございました。